

## 静岡県内市町仮置場の確保状況

### 1. 県内の状況

#### 1.1 仮置場必要面積の算定方法

$$\text{仮置場必要面積 } S(\text{m}^2) = \frac{\text{保管対象物発生量 } V(\text{m}^3)}{\text{積み上げ高さ } H(\text{m})} \times \text{保管面積の割合 } R(\%)$$

補完対象物発生量  $V$  : 静岡県第4次地震被害想定

積み上げ高さ  $H$  : 5m (環境省災害廃棄物対策指針による)

保管面積の割合  $R$  : 50% (敷地全体に占める作業・動線部分を除く割合)

※ 災害廃棄物は継続して発生し順次処理されるため、処理の各時点における仮置き場面積は、ここで求める仮置場必要面積よりも少なくなると考えられる。

#### 1.2 想定される災害廃棄物発生量

第4次地震被害想定では、県内で想定される災害廃棄物等の最大発生量は約3,739万 $\text{m}^3$ と予測されており、この場合の仮置場必要面積は約374万 $\text{m}^2$ である。

静岡県第4次地震被害想定 (単位: 万 $\text{m}^3$ )

ケース	災害廃棄物	津波堆積物	合計
東海地震	2,690	最大 115	最大 2,805
南海トラフ巨大地震	基本ケース	最大 632	最大 3,556
	陸側ケース	最大 632	最大 3,393
	東側ケース	最大 632	最大 3,739
関東地震 (相模トラフ)	大正型	最大 30	最大 164
	元禄型	最大 84	最大 336

※ 津波堆積物は想定量に幅があるため、本表においては最大値を記載

※ 仮置場必要面積 =  $37,390,000(\text{m}^3) / 5(\text{m}) \times 2 = 14,956,000 \text{m}^2$